

目次

- 1 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況 . . . p. 1
- 2 人材需要の動向等社会の要請 . . . p. 6

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況

(1) 学生確保の見通し

a 定員充足の見込み

大学院の定員は、「平成 30 年度私立薬科大学（薬学部）入学定員及び入学者数」（資料 1）と「平成 30 年度私立薬科大学（薬学部）大学院博士課程（4 年）入学志願者数及び入学者数」（資料 2）の資料を基に検討した。平成 30 年度の私立薬科大学（薬学部）大学院（博士課程）の入学定員に対する志願者の倍率を算定すると 0.86（161 人/187 人）であり、1.0 を超えていない。また、薬学部 6 年制の平均入学定員 187 名に対し、大学院博士課程の平均入学定員は 4 名（薬学部 6 年制の平均入学定員の 2%）となっている。尚、薬学部 6 年制卒業生の大学院への進学率は、就職動向調査結果等から 1.5%となっている（資料 3）。定員充足の確実性、教育・研究の質の確保等の観点から、本学大学院においては定員を 3 名（本学 6 年制の入学定員 260 名の 1.2 %）とやや低めに設定した。よって、定員の充足は十分可能だと考えられる。

【資料 1 平成 30 年度私立薬科大学（薬学部）入学定員及び入学者数】

【資料 2 平成 30 年度私立薬科大学（薬学部）大学院博士課程（4 年）入学志願者数及び入学者数】

【資料 3 平成 30 年 3 月 薬学部（6 年制）卒業生就職動向】

b 入学者確保の見通し

本学は、平成 16 年に健康薬学科、漢方薬学科、医療薬学科の 1 学部 3 学科からなる単科大学として開学した。特に、漢方薬学科については、これを有する日本で最初の薬学部となった。その後、薬剤師 6 年制教育への移行に伴い、平成 23 年度より 6 年制の薬学科（健康薬学コース、漢方薬学コース、医療薬学コース）と 4 年制の医療ビジネス薬科学科の 2 学科体制となっている。薬学科（6 年制）は、18 歳人口が減少する中、安定的に志願者を確保し、過去 5 年間では入学定員（260 名）を充足している。

表 1 日本薬科大学薬学科（6 年制）入学者数と定員充足率（過去 5 年間）

	入学定員	入学者数	定員充足率
平成 26 年度	260	283	109%
平成 27 年度	260	279	107%
平成 28 年度	260	263	101%
平成 29 年度	260	260	100%
平成 30 年度	260	278	107%

埼玉県内において薬学系の学部・大学院を設置している大学は、平成 30 年 4 月現在、1 大学のみである。よって、新設を予定する本学の大学院に対する潜在的な需要は大きく、6 年制学科を基礎とする薬学専攻博士課程の大学院設置は、地域的・社会的ニーズにも合致するものである。

更に、統合医療に精通した高度な研究能力を有する薬剤師、薬学研究者・教育者の養成に特化した教育目標を強く打ち出すことにより、特色ある人材育成を目指すとともに、近年の健康・漢方ブームを踏まえ、受験生への訴求力を高めることによって、学生は確保できるものと考えている。

平成 16 年度に開学した本学は、平成 19 年度～20 年度（旧カリキュラム）および平成 23 年度～平成 30 年度（6 年制）までの 10 期に渡り卒業生を社会に送り出してきた。これらの卒業生のうち、38 名が大学院へ進学し、年平均の進学者数は 3.8 人である。この実績は、本学の大学院における博士課程の定員 3 名を十分確保できることを示している。

また、本学の大学院に関するアンケート調査を、設置予定年度以降に志願者として予想される本学薬学科（6 年制）の 4 年生と 5 年生を対象に実施した。

【資料 4 大学院博士課程に関するアンケート（在学生対象）】

【資料 5 在学生アンケート調査結果（薬学科 4 年生）】

【資料 6 在学生アンケート調査結果（薬学科 5 年生）】

「卒業後の進路」として、「本学の大学院進学を受験先」と回答した 4 年生は 18 名（有効回答数 167 名）、5 年生は 11 名（有効回答数 162 名）おり、多くの在学生が本学を大学院進学先として考えていることが判明した。

また、本学の大学院の入学資格者には、社会人も対象として考えている。本学薬学部の実務実習先を含めた薬局・病院及び企業等 79 団体にアンケート調査を実施した。

【資料 7 日本薬科大学大学院博士課程に関するアンケート（対象：企業、薬局、病院等）】

【資料 8 企業、薬局、病院等へのアンケート調査結果】

「社会人が入学できる大学院に興味がありますか」の質問に対し、「興味がある」及び「やや興味がある」と回答した団体は 66 団体で、8 割以上が興味を示しており、社会人の志願者についても潜在的に大きいものと予想された。以上の結果より、入学定員を充足することは十分可能と考えられる。

c 定員充足の根拠となる調査結果の概要

(a) 埼玉県内の薬系大学（薬学部）及び大学院博士課程の設置状況

埼玉県内における薬学系の学部（6年制）および大学院（博士課程）を設置している大学は、平成30年4月現在、1大学（博士課程入学定員6名）のみである（資料1・2）。

よって、新設を予定の本学大学院（博士課程）に対する潜在的な需要は大きく、十分な学生確保が可能と考えている。

(b) 本学在学学生へのアンケート調査

・ 薬学科（6年制）の4年生へのアンケート結果（資料5）

「卒業後に大学院進学を考えていますか」との質問に対し、「すぐに進学したい」及び「いずれ進学したい」と回答した学生が26%（43名/有効回答数167名）であった。この値は、就職動向調査結果に基づいた「大学院への進学率1.5%」と比較しても高い数値であり、多くの学生が大学院進学を検討していることが判明した。（質問項目1）

「大学院進学を考えている」と回答した対象者に、「大学院希望分野」を質問したところ、薬学系36名、医学系5名、理学系3名、未定4名であった。薬学系の大学院への進学に、強い期待が伺えた。（質問項目2）

更に、「本学に大学院（博士課程）が設置された場合の受験先」の質問に対し、「本学を受験する」と回答した学生が18名おり、本学の大学院への強い期待と需要があることが判明した。（質問項目4）

また、「社会人が入学できる大学院に興味はありますか」との質問に対し、全体の46%（76名/167名）の学生が「興味がある」及び「やや興味がある」との回答があった。この結果は、卒業後の進路希望で就職を希望している者でも、社会人として大学院に進学することに関心を持っていることを強く示唆している。（質問項目5）

・ 薬学科（6年制）の5年生へのアンケート結果（資料6）

「卒業後に大学院進学を考えていますか」との質問に対し、「すぐに進学したい」及び「いずれ進学したい」と回答した学生が12%（20名/有効回答数162名）おり、多くの学生が大学院進学を考えていることが明らかとなった。

（質問項目1）

「大学院進学を考えている」と回答した対象者に、「大学院希望分野」を質問したところ、薬学系12名、医学系7名、農学系1名であった。4年生と同じく、薬学系の大学院への強い期待があった。（質問項目2）

更に、「本学に大学院（博士課程）が設置された場合の受験先」の質問に対し、本学を受験すると回答した学生が 11 名おり、4 年生と同様に、本学の大学院への強い期待と需要があることが判明した。（質問項目 4）

また、「社会人が入学できる大学院に興味はありますか」との質問に対し、全体の 36%（58 名/162 名）の学生が「興味がある・やや興味がある」との回答があった。4 年生と同様に、卒業後の進路希望で就職を希望している者でも、社会人として大学院に進学することに関心を持っていた。（質問項目 5）

(c) 企業、薬局、病院等へのアンケート調査（資料 8）

本学薬学部の実務実習先を含めた薬局・病院及び企業等 79 団体にアンケート調査を実施した。「本学に大学院博士課程を設置することは？」の質問に対し、「望ましい」と回答した団体は 72%（57 団体/79 団体）であった。団体等の事業主も本学の大学院博士課程の設置に大きな関心を持っていることが判明した。

（質問項目 1）

「博士（薬学）の学位を持った学生の就職は？」の質問に対し、「是非とも採用したい」と回答した団体は 61%（48 団体/79 団体）であり、博士（薬学）の学位取得者のニーズが高いと言える。（質問項目 2）

「貴社（貴法人）に所属する社員（職員）が学位を取得する可能性は？」の質問に対して「大いにある」及び「ある」と回答した団体は 43%（34 団体/79 団体）であった。さらに「社会人が入学できる大学院に興味はありますか？」の質問に対して「興味がある」及び「やや興味がある」と回答した団体は 84%（66 団体/79 団体）であった。また、「博士（薬学）の学位を持った人材に期待することは」の質問に対しては、「社員（職員）の資質向上」、「大学との連携強化」など、社会人大学院への強い期待と需要があることが判明した。（質問項目 3、4、5）

d 学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、中長期的に安定した志願者、入学者を確保するために、首都圏の私立薬科大学（学部）の大学院博士課程（4 年）納付金額も参考にしながら設定している。また、教育・研究の質の維持の観点から大学院開設以降の収支バランスや、大学院の運営にかかる最小限のコストについても配慮している。これらを踏まえ、首都圏の私立薬科大学（学部）大学院博士課程（4 年）初年度納付金の平均が約 102 万円であることから、同程度の 110 万円に設定した。

【資料 9 平成 30 年度 首都圏私立薬科大学（薬学部）大学院博士課程（4 年）納付金】

表2 学生納付金の内訳

	内 訳			納付金合計
	入学金	授業料	施設充実費	
初 年 度	300,000 円	800,000 円	0 円	1,100,000 円
2 年次以降	0 円	800,000 円	300,000 円	1,100,000 円

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

a 学生確保に向けた取組方針

設置構想段階では、本学薬学部の新設大学院設置の目的、趣旨等の設置構想を広報した。認可申請中の段階では、大学院設置の進捗状況に関する情報を継続的に提供し続けるとともに、本学の薬学実務実習の受入れ実績のある医療機関等にも情報提供を行い、社会人に対しても広報を実施する予定である。設置認可後は入学試験制度等の周知を積極的に行い、学生確保に努めることとする。

b 学生確保に向けた取組状況

設置申請中の学生広報の展開として、当面は本学薬学科の学生を中心に設置の趣旨の周知を図る予定である。設置申請が認可された後は、学生募集要項を本学のホームページに掲載し、大学でのオープンキャンパス、進学説明会を通して、学生募集に取り組む。その他、大学院担当予定の教員が、本学薬学科の在生に対して研究テーマ等を周知し、興味を持たせるように取り組むとともに、卒業研究のセミナー・学会等において広報活動を随時行う。さらに、これまでの薬学実務実習の受入れ実績のある医療機関等にも情報提供を積極的に行い、社会人受験者の開拓に努める。また、経済的支援として、Teaching Assistant (TA) や Research Assistant (RA) などの給付型支援、日本学生支援機構奨学金の獲得及び日本学術振興会特別研究員の採用のサポートなど、優秀な人材の進学促進に向けての取組について併せて伝えていく。

今後の具体的な取組の計画としては、本学の在生、病院・薬局薬剤師、他大学の在生に対し、ガイダンス・説明会、実務実習時の病院・薬局訪問、生涯教育研修会、インターネットなどの場を活用することによって、本学の大学院を周知し、受験生の募集を行い、学生の確保を図る予定である。

このうち、病院薬剤師、薬局薬剤師に対する募集活動としては、埼玉県内及び近郊の実務実習施設（約 200 施設以上）訪問時にパンフレットを持参し、社会人の学位取得のメリットや、薬剤師としてのスキルアップにつながることを重点に、入学から卒業までの大まかなスケジュールについて説明する。

表3 学生確保に向けた取組(今後の予定)

対象者	実施方法	時期	場所等	参加者等 見積
本学の在学生	設置年度は全学年のガイダンス時に、次年度以降は入学時ガイダンス時に説明・資料配布し、就職時の進路として大学院を早期に周知	4月	本学	設置年度 1,560名 次年度以降 260名
	就職説明会時に説明・資料配布し、受験者を募集	2月	本学	260名
病院・薬局 薬剤師	実務実習施設訪問時にパンフレットを個々に配付し、受験者を募集	3～4回/年	病院・薬局など 200箇所以上	400名
病院・薬局 薬剤師	本学で定期的に関行される生涯教育研修会にパンフレット配布し、大学院を周知	3回/年	研修会会場	240名
共通 他大学の在学生	日本薬科大学ホームページに大学案内・入試要綱を掲載し、大学院募集を公表し、WEB募集を実施	通年	インター ネット	H31.4.1～ H32.2.28 アクセス数 160万PV

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

本学大学院研究科においては、建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を教育理念とし、「薬」に関する深い専門知識・技術を身につけ、基礎薬学および臨床薬学に関する研究活動を自立して遂行し、新たな課題を見出してそれぞれに取り組むことができる、高度の研究能力を有する薬剤師、薬学教育者、あるいは薬学研究者の育成を目的とする。

薬学研究科では、統合医療の理解を基盤とし、基礎薬学および臨床薬学に関する研究活動を自立して行い、多様化する精密医療における新たな課題に取り組むとともに、高齢化や少子化を背景とした地域医療における諸問題を解決できる、多角的かつ高度な医療薬学研究能力を有する人材を養成する。さらに、中教審から出された「2040年を見据えた大学院教育のあるべき姿」で求められている大学院の高度な教育研究を通じてこそ身に付くことが期待される今後の社会を先導できる力、様々な場面で通用するようなトランスファラブルな力を同時に備えられるよう育成する。

特に、個々の患者に施す最適な医療とその薬物療法及びかかりつけ薬剤師を基軸とした地域医療に関する基礎的・医療薬学的研究を推進できる薬剤師及び薬学の科学者を育成する。

(2) 上記(1)が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

a 社会的、地域的な人材需要の動向

埼玉県は、膨大なマーケットである首都圏に位置すると同時に、高度な技術力を持つ企業や優れた人材の集積があり、国内企業のみならず海外企業にとっても、大変魅力的な地域である。

埼玉県には自然科学の総合研究所である理化学研究所や大正製薬株式会社、株式会社富士薬品、ゼリア新薬工業株式会社等の製薬企業や株式会社アイビー化粧品、株式会社アルビオン、株式会社ちふれ化粧品等の化粧品メーカーの研究所や工場も多い。さらに、ベッド数 500 床以上の病院が 15 施設あり、埼玉県立がんセンター、さいたま赤十字病院、埼玉医科大学病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、獨協医科大学埼玉医療センター、防衛医科大学校病院が近隣に立地している。埼玉医科大学病院にはこれまでも卒業生が採用され勤務しているが、博士の学位をもった学生の採用も積極的に行っている。

また、埼玉県地域保健医療計画（平成 30～35 年度）においては、将来の医療提供体制を支える医療従事者の確保・養成が重視され、薬剤師の確保・養成においても高度の専門性を求められ、その識能を向上されることが必要とされている。平成 28 年において、埼玉県は人口 10 万人当たりの薬剤師数は 207.2 人であり、全国（237.4 人）を 30.2 人下回っており、都道府県中 26 位で、首都圏で比較すると最下位である。埼玉県地域保健医療計画（平成 30～35 年度）の医療従事者等の確保の現状と課題では、薬剤師については、医療の高度化、専門化、チーム医療の普及、患者等への医薬品の情報提供及びかかりつけ薬剤師・薬局機能の推移等により、高度な知識・技術と臨床経験を有する薬剤師の確保が求められていると記載されている。

【資料 10 埼玉県地域保健医療計画（平成 30～35 年度）】

このように、大学院設置による高い専門性を有する人材の育成・供給への期待が大きくなっている。

b 製薬企業の採用・募集状況の一例

基礎薬学系の研究職について採用動向についても前述の薬剤師と同様に高度の専門性を求められており、大手の製薬企業の上位 10 社は、修士以上のみで学士の採用が無く、武田薬品工業と中外製薬においては博士の資格が求められており、大学院の設置による人材育成の意義は高いものと考えられる。

【資料 11 製薬企業 売上上位 10 社の 2019 年及び 2020 年新卒採用情報】

実際の企業の求人の募集要項の一例でも、研究職・開発職等の職域については修士以上の学位を求められており上記を裏付けるものである。

【資料 12 武田薬品工業株式会社の募集要項(実際の一例)】

c 日本薬科大学大学院の博士課程の修了生の採用動向に関する調査結果

日本薬科大学大学院の博士課程において養成する人材に対する修了後の進路について検証するために、首都圏を中心とした病院や薬局をはじめとする医療に関連する団体等を対象とし、【日本薬科大学大学院博士課程に関するアンケート】を実施した。有効回答件数 79 件のうち、72.2%にあたる 57 団体が本学に大学院を設置することが望ましいと回答し、博士（薬学）の学位を持った修了生の採用動向について、48 団体は「積極的に採用したい」と前向きな意向を示している。また、社会人が入学できる大学院についての関心を調査したところ、83.5%が関心を持っており、43%は団体に所属する社員（職員）が今後学位を取得する可能性があるという意向を示した。この調査結果によって大学院への関心度の高さと博士の学位を持った修了生への採用意向の高さをうかがえることから、日本薬科大学大学院の薬学研究科博士課程の人材を養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、社会的な人材需要の動向等を踏まえたものであり、修了後の進路については、十分見通しがあるものと考えられる。

【資料 8 企業、薬局、病院等へのアンケート調査結果】

資料目次

- 1 平成 30 年度私立薬科大学（薬学部）入学定員及び入学者数
出典：日本私立薬科大学協会だより 第 91 号 平成 30 年 6 月（日本私立薬科大学協会）より抜粋
- 2 平成 30 年度私立薬科大学（薬学部）大学院博士課程（4 年）入学志願者数及び入学者数
出典：日本私立薬科大学協会だより 第 92 号 平成 30 年 11 月（日本私立薬科大学協会）より抜粋
- 3 平成 30 年 3 月 薬学部（6 年制）卒業生就職動向
出典：薬学出身者の就職動向：平成 30 年 3 月 6 年制学科卒業生調査結果（一般社団法人薬学教育協議会）より抜粋
- 4 大学院博士課程に関するアンケート（在学生対象）
- 5 在学生アンケート調査結果（薬学科 4 年生）
- 6 在学生アンケート調査結果（薬学科 5 年生）
- 7 日本薬科大学大学院博士課程に関するアンケート（対象：企業、薬局、病院等）
- 8 企業、薬局、病院等へのアンケート調査結果
- 9 平成 30 年度首都圏私立薬科大学（薬学部）大学院博士課程（4 年）納付金
出典：日本私立薬科大学協会だより 第 91 号 平成 30 年 6 月（私立薬科大学）より抜粋
- 10 埼玉県地域保健医療計画（平成 30～平成 35 年度）
出典：埼玉県地域保健医療計画（平成 30～平成 35 年度）（埼玉県）より抜粋
- 11 製薬企業売上上位 10 社の 2019 年及び 2020 年新卒採用情報
- 12 武田薬品工業株式会社の募集要項（実際の一例）

平成30年度 私立薬科大学(薬学部) 入学定員及び入学

平成30年4月1日現在

大学名	6年制			4年制			計		
	入学定員(A)	入学者数(B)	B/A	入学定員(A)	入学者数(B)	B/A	入学定員(A)	入学者数(B)	B/A
北海道医療大学	160	164	1.02				160	164	1.02
北海道科学大学	180	186	1.03				180	186	1.03
青森大学	90	39	0.43				90	39	0.43
岩手医科大学	120	64	0.53				120	64	0.53
東北医科薬科大学	300	314	1.04	40	24	0.60	340	338	0.99
いわき明星大学	90	84	0.93				90	84	0.93
奥羽大学	140	113	0.80				140	113	0.80
国際医療福祉大学	180	194	1.07				180	194	1.07
高崎健康福祉大学	90	111	1.23				90	111	1.23
城西大学	250	254	1.01	50	46	0.92	300	300	1.00
日本薬科大学	260	278	1.06	90	100	1.11	350	378	1.08
城西国際大学	130	119	0.91				130	119	0.91
千葉科学大学	120	76	0.63	35	5	0.14	155	81	0.52
帝京平成大学	240	232	0.96				240	232	0.96
北里大学	260	264	1.01	35	36	1.02	295	300	1.01
慶應義塾大学	150	157	1.04	60	58	0.96	210	215	1.02
昭和大学	200	215	1.07				200	215	1.07
昭和薬科大学	240	246	1.02				240	246	1.02
帝京大学	320	317	0.99				320	317	0.99
東京薬科大学	420	455	1.08				420	455	1.08
東京理科大学	100	87	0.87	100	102	1.02	200	189	0.94
東邦大学	220	241	1.09				220	241	1.09
日本大学	244	254	1.04				244	254	1.04
星薬科大学	260	263	1.01	20	22	1.10	280	285	1.01
武蔵野大学	160	143	0.89				160	143	0.89
明治薬科大学	300	318	1.06	60	66	1.10	360	384	1.06
横浜薬科大学	340	388	1.14	30	33	1.10	370	421	1.13
新潟薬科大学	180	120	0.66				180	120	0.66
北陸大学	220	112	0.50				220	112	0.50
愛知学院大学	145	143	0.98				145	143	0.98
金城学院大学	150	160	1.06				150	160	1.06
名城大学	265	274	1.03				265	274	1.03
鈴鹿医療科学大学	100	108	1.08				100	108	1.08
京都薬科大学	360	407	1.13				360	407	1.13
同志社女子大学	120	132	1.10				120	132	1.10
立命館大学	100	88	0.88	60	53	0.88	160	141	0.88
大阪大谷大学	140	144	1.02				140	144	1.02
大阪薬科大学	294	307	1.04				294	307	1.04
近畿大学	150	148	0.98	40	39	0.97	190	187	0.98
摂南大学	220	232	1.05				220	232	1.05
神戸学院大学	250	241	0.96				250	241	0.96
神戸薬科大学	270	268	0.99				270	268	0.99
姫路獨協大学	100	47	0.47				100	47	0.47
兵庫医療大学	150	165	1.10				150	165	1.10
武庫川女子大学	210	204	0.97	40	25	0.62	250	229	0.91
就実大学	120	63	0.52				120	63	0.52
広島国際大学	120	105	0.87				120	105	0.87
福山大学	150	128	0.85				150	128	0.85
安田女子大学	120	101	0.84				120	101	0.84
徳島文理大学	180	74	0.41				180	74	0.41
徳島文理大学香川薬学部	90	37	0.41				90	37	0.41
松山大学	100	95	0.95				100	95	0.95
第一薬科大学	173	182	1.05				173	182	1.05
福岡大学	230	231	1.00				230	231	1.00
長崎国際大学	120	110	0.91				120	110	0.91
崇城大学	120	153	1.27				120	153	1.27
九州保健福祉大学	140	92	0.65	40	18	0.45	180	110	0.61
計(57大学)	10,651	10,247	0.96	700	627	0.89	11,351	10,874	0.95

平成30年度 私立薬科大学(薬学部)大学院博士課程(4年)
入学志願者及び入学者数

平成30年5月1日現在

資料2

大学名	博士課程									
	研究科名	専攻名	入学定員	総定員	志願者数		入学者数		在籍学生数	
					6年制 薬学部卒	6年制 薬学部卒	6年制 薬学部卒	6年制 薬学部卒	6年制 薬学部卒	
北海道医療大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	3	0	3	0	13	5
北海道科学大学	薬学研究科	臨床薬学専攻	3	12	0	0	0	0	5	5
岩手医科大学	薬学研究科	医療薬学専攻	3	12	4	4	3	3	11	10
東北医科薬科大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	1	1	1	1	12	10
国際医療福祉大学	薬学研究科	医療・生命薬学専攻	5	20	3	2	3	2	11	4
高崎健康福祉大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	2	1	2	1	5	2
城西大学	薬学研究科	薬学専攻	6	18	5	5	5	5	20	20
城西国際大学	薬学研究科	医療薬学専攻	3	12	1	1	1	1	5	2
千葉科学大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	0	0	0	0	1	1
帝京平成大学	薬学研究科	薬学専攻	5	20	1	1	1	1	2	1
北里大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	5	4	5	4	18	10
慶應義塾大学	薬学研究科	薬学専攻	5	20	7	6	7	6	29	26
昭和大学	薬学研究科	薬学専攻	8	32	17	12	15	11	70	43
昭和薬科大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	6	3	5	3	17	15
帝京大学	薬学研究科	薬学専攻	8	32	4	2	3	1	17	14
東京薬科大学	薬学研究科	薬学専攻	10	40	10	8	8	6	40	33
東京理科大学	薬学研究科	薬学専攻	5	20	8	7	8	7	17	15
東邦大学	薬学研究科	医療薬学専攻	5	20	4	3	4	3	23	11
日本大学	薬学研究科	薬学専攻	5	20	5	3	5	3	17	8
星薬科大学	薬学研究科	薬学専攻	5	20	3	3	3	3	18	13
明治薬科大学	薬学研究科	薬学専攻	5	20	8	6	7	5	36	13
新潟薬科大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	2	1	2	1	5	3
愛知学院大学	薬学研究科	医療薬学専攻	3	16	1	1	1	1	6	5
名城大学	薬学研究科	薬学専攻	4	16	3	2	3	2	24	12
鈴鹿医療科学大学	薬学研究科	医療薬学専攻	2	8	2	0	2	0	9	4
京都薬科大学	薬学研究科	薬学専攻	10	40	9	9	9	9	50	36
同志社女子大学	薬学研究科	医療薬学専攻	4	16	2	2	2	2	8	8
立命館大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	1	1	1	1	12	8
大阪薬科大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	5	5	4	4	9	6
近畿大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	5	4	5	4	16	15
摂南大学	薬学研究科	医療薬学専攻	4	16	3	2	3	2	14	12
神戸学院大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	2	2	2	2	12	10
神戸薬科大学	薬学研究科	薬学専攻	3	12	6	4	4	3	10	7
兵庫医療大学	薬学研究科	医療薬学専攻	3	12	1	1	1	1	7	3
武庫川女子大学	薬学研究科	薬学専攻	2	8	0	0	0	0	6	2
就実大学	医療薬学研究科	疾病治療薬学専攻	4	16	3	1	3	1	12	5
広島国際大学	薬学研究科	医療薬学専攻	2	8	3	0	3	0	7	0
福山大学	薬学研究科	医療薬学専攻	3	12	2	2	2	2	3	3
安田女子大学	薬学研究科	薬学専攻	2	8	0	0	0	0	1	1
徳島文理大学	薬学研究科	薬学専攻	6	24	0	0	0	0	6	5
松山大学	医療薬学研究科	医療薬学専攻	3	12	1	1	1	1	6	6
福岡大学	薬学研究科	薬学専攻	6	24	11	9	11	9	24	21
長崎国際大学	薬学研究科	医療薬学専攻	3	12	1	1	1	1	11	9
薬城大学	薬学研究科	薬学専攻	5	20	0	0	0	0	7	3
九州保健福祉大学	医療薬学研究科	医療薬学専攻	4	16	1	1	1	1	10	6
計			187	746	161	121	150	113	662	451

平成30年3月 薬学部(6年制) 卒業生就職動向

資料3

		男		女		合 計	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
就職した者	給与の判明した者	2,358	64.1	3,922	66.5	6,280	65.6
	給与の判明しない者	672	18.3	1,091	18.5	1,763	18.4
就職しなかった者	無給実習・見習い	6	0.2	16	0.3	22	0.2
	進学	98	2.7	42	0.7	140	1.5
	非就職者	126	3.4	190	3.2	316	3.3
	未定	419	11.4	639	10.8	1,058	11.0
合 計		3,679	100.0	5,900	100.0	9,579	100.0

大学院博士課程進学に関するアンケート

日本薬科大学

日本薬科大学では大学院薬学研究科博士課程の設置を計画しています。大学院薬学研究科は薬学及び臨床薬学の高度な専門性を持った薬剤師及び薬学研究者の育成を目指しています。入学資格は、6年制の大学卒又は修士の学位を持つ方、あるいはそれらと同等の学力を有する方を対象としています。そのために、4年生と5年生の皆さんに大学院進学意識調査を実施することとなりました。皆さんの希望や現時点での考えで結構ですので、是非ともご協力ください。

Q1 卒業後に大学院進学を考えていますか？

1. すぐに進学したい
2. いずれ進学したい
3. 考えていない

Q2 Q1で1又は2を選ばれた方の大学院希望分野を聞かせて下さい。

1. 薬学系
2. 医学系
3. 保健学系
4. 理学系
5. 農学系
6. その他
7. 未定

Q3 Q2で6を選ばれた方の具体的な進路分野を聞かせて下さい。

_____分野

Q4 日本薬科大学に大学院が設置された場合の受験先を聞かせて下さい。

1. 日本薬科大学大学院
2. 他大学の大学院（大学名 _____）
3. 未定

Q5 社会人が入学できる大学院に興味がありますか？

1. 興味がある
2. やや興味がある
3. 興味が無い
4. わからない

Q6 大学院修了後の進路希望を聞かせて下さい。

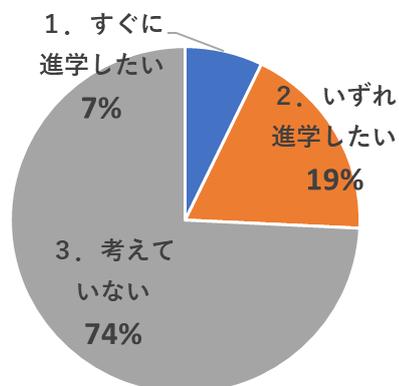
1. 製薬会社
2. 研究職
3. 病院
4. 薬局
5. 大学
6. その他

在学学生アンケート調査結果：薬学科 4 年生

有効回答数 167 名

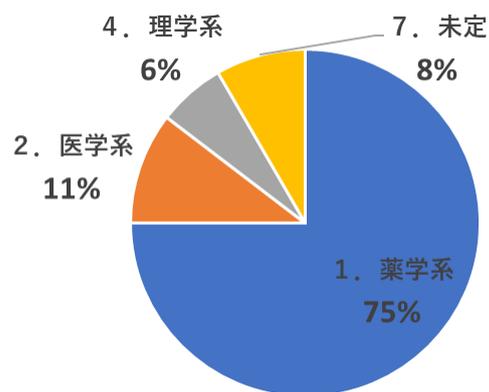
Q1 卒業後に大学院進学を考えていますか？

	回答数
1. すぐに進学したい	12
2. いずれ進学したい	31
3. 考えていない	124



Q2 Q1 で 1 又は 2 を選ばれた方の大学院希望分野を聞かせてください。

	回答数
1. 薬学系	36
2. 医学系	5
3. 保健学系	0
4. 理学系	3
5. 農学系	0
6. その他	0
7. 未定	4



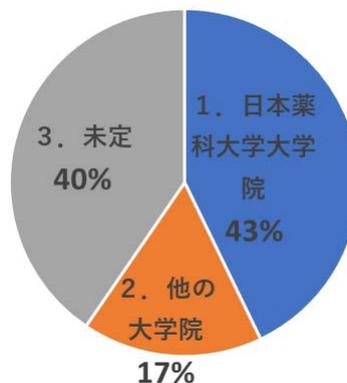
Q3 Q2 で 6 を選ばれた方の具体的な進路分野を聞かせてください。

なし

Q4 日本薬科大学に大学院が設置された場合の受験先を聞かせてください。

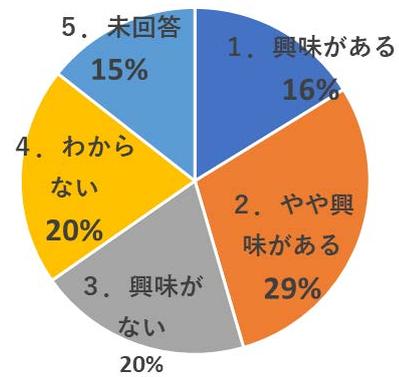
	回答数
1. 日本薬科大学大学院	18
2. 他の大学院*	7
3. 未定	17

*東京大学



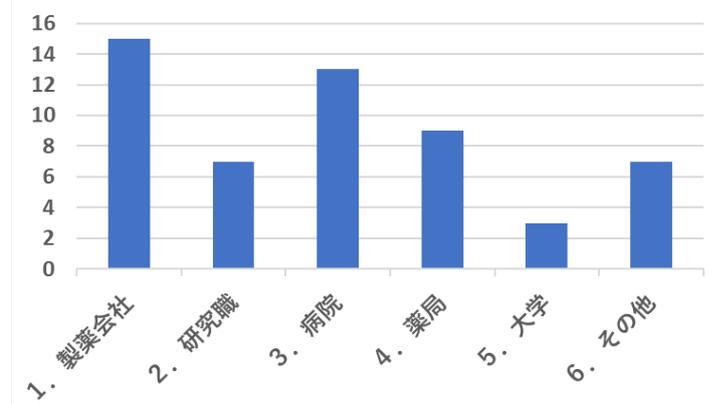
Q5 社会人が入学できる大学院に興味はありますか？

	回答数
1. 興味がある	27
2. やや興味がある	49
3. 興味がない	33
4. わからない	34
5. 未回答	24



Q6 大学院修了後の進路希望を聞かせてください。

	回答数
1. 製薬会社	15
2. 研究職	7
3. 病院	13
4. 薬局	9
5. 大学	3
6. その他	7

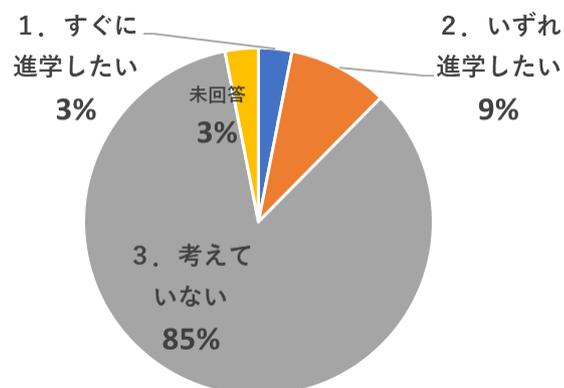


在学学生アンケート調査結果：薬学科 5 年生

有効回答数 162 名

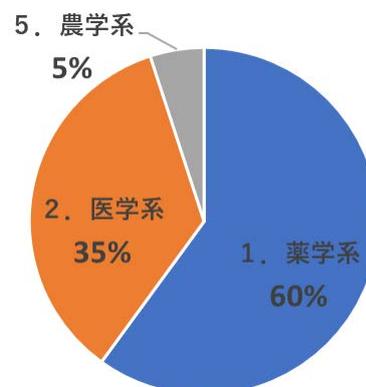
Q1 卒業後に大学院進学を考えていますか？

	回答数
1. すぐに進学したい	5
2. いずれ進学したい	15
3. 考えていない	137
未回答	5



Q2 Q1 で 1 又は 2 を選ばれた方の大学院希望分野を聞かせてください。

	回答数
1. 薬学系	12
2. 医学系	7
3. 保健学系	0
4. 理学系	0
5. 農学系	1
6. その他	0
7. 未定	0



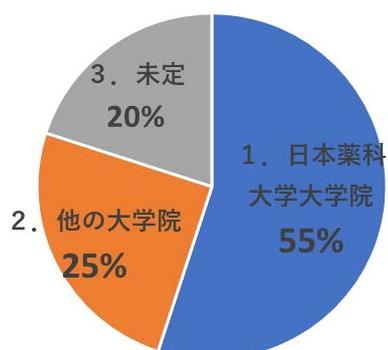
Q3 Q2 で 6 を選ばれた方の具体的な進路分野を聞かせてください。

なし

Q4 日本薬科大学に大学院が設置された場合の受験先を聞かせてください。

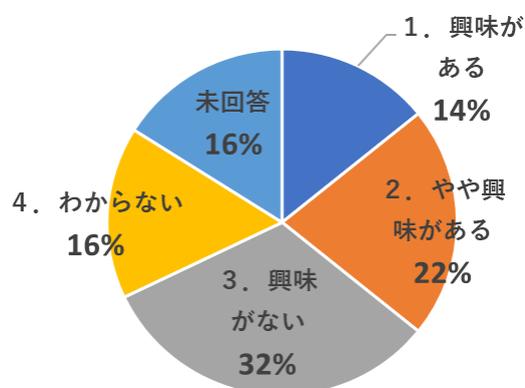
	回答数
1. 日本薬科大学大学院	11
2. 他の大学院*	5
3. 未定	4

*東京薬科大学、千葉大学、東北大学、東京理科大学



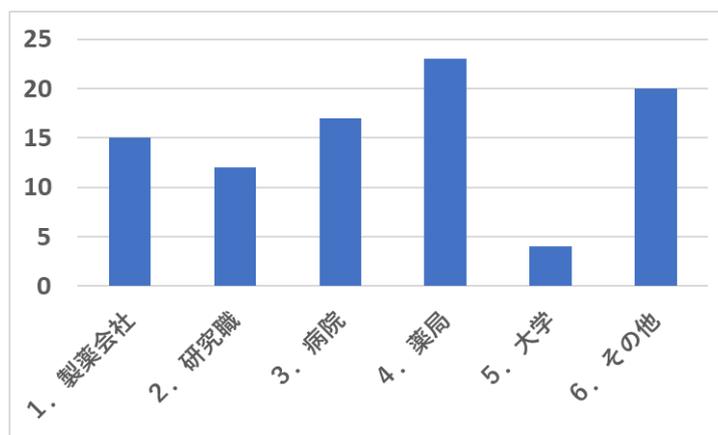
Q5 社会人が入学できる大学院に興味はありますか？

	回答数
1. 興味がある	23
2. やや興味がある	35
3. 興味がない	52
4. わからない	26
未回答	26



Q6 大学院修了後の進路希望を聞かせてください。

	回答数
1. 製薬会社	15
2. 研究職	12
3. 病院	17
4. 薬局	23
5. 大学	4
6. その他	20



企業、薬局、病院等へのアンケート調査結果

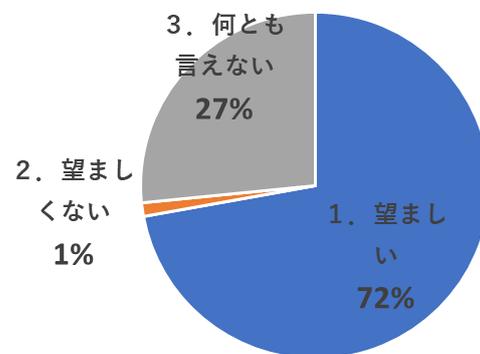
有効回答数:79 社

内訳

公務員	3
病院	10
調剤薬局・ドラッグストア	56
治験	2
製薬企業	4
その他	4

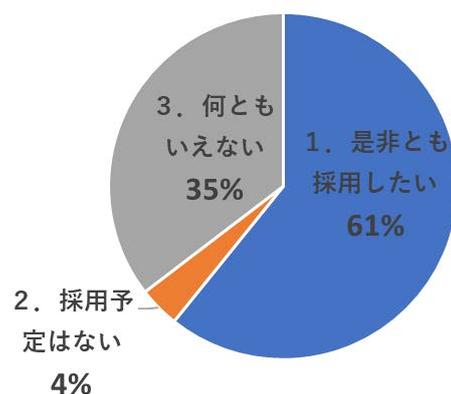
Q1 日本薬科大学に大学院博士課程を設置することは？

	回答数
1. 望ましい	57
2. 望ましくない	1
3. 何とも言えない	21



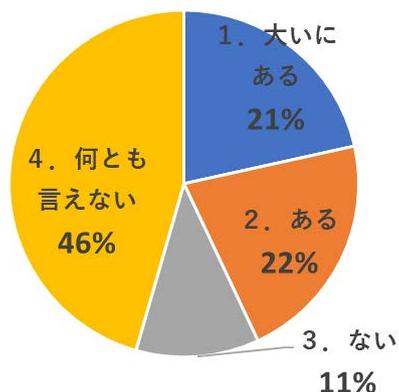
Q2 博士(薬学)の学位を持った学生の就職は？

	回答数
1. 是非とも採用したい	48
2. 採用予定はない	3
3. 何ともいえない	28



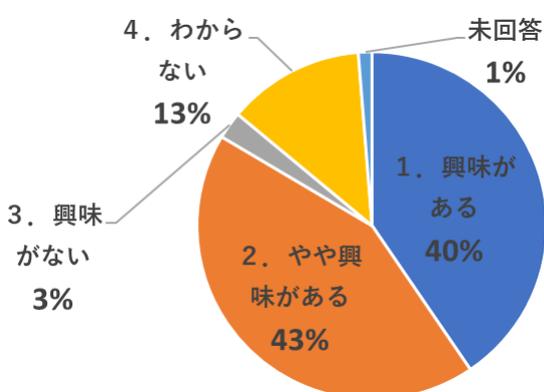
Q3 貴社(貴法人)に所属する社員(職員)が学位を取得する可能性はありますか？

	回答数
1. 大いにある	17
2. ある	17
3. ない	9
4. 何とも言えない	36



Q4 社会人が入学できる大学院に興味がありますか？

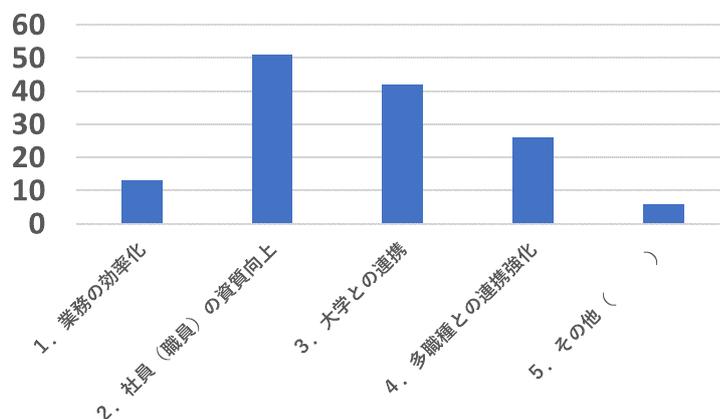
	回答数
1. 興味がある	32
2. やや興味がある	34
3. 興味がない	2
4. わからない	10
未回答	1



Q5 博士(薬学)の学位を持った人材に期待することは？(いくつでも)

	回答数
1. 業務の効率化	13
2. 社員(職員)の資質向上	51
3. 大学との連携	42
4. 多職種との連携強化	26
5. その他() *	6

*その他: 薬の知識強化、高い問題解決能力、論理的思考、高い専門性、学会活動、組織人としての素養等



資料9

平成30年度 首都圏 私立薬科大学(薬学部) 大学院生 博士課程(4年) 納付金

大学名	学生納付金(初年度)(単位 千円)						合計
	入学金	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	その他	
城西大学	350	850	250				1,450
城西国際大学	300	750	150				1,200
千葉科学大学	200	680	150	150			1,180
帝京平成大学	200	760	200				1,160
北里大学	200	750					950
慶應義塾大学		660					660
昭和大学	100	400	100	100			700
昭和薬科大学	300	500					800
帝京大学	300	720	210		4		1,234
東京薬科大学	150	440	200				790
東京理科大学	200	910	200				1,310
東邦大学	200	450	150				800
日本大学	200	600	500				1,300
星薬科大学	100	800					900
明治薬科大学	200	680					880
						東京都市圏15大学平均	1,021